

エコアクション21
2021年度環境経営レポート
活動期：2021年11月～2022年1月



株式会社 大幹

目次

1 組織の概要と対象範囲	1
2 実施体制と役割・責任・権限	3
3 環境基本理念・環境方針	4
4 環境経営実施計画	6
5 環境目標及び取り組みの結果	7
6 環境関連法規等の遵守評価結果 及び訴訟等の有無	12
7 代表者による全体評価と 見直しの結果	14

1 組織の概要と対象範囲

- 名称及び代表者名

株式会社 大幹 代表取締役 小迫尊光

- 所在地

千葉県千葉市若葉区御成台3丁目1168番地23

- 事業内容

土木工事、スポーツ施設工事、舗装工事
管工事、造園工事

- 事業規模

施工管理者15名、事務職7名、現場技術者37名
(内、外国人12名)

- 会社概要

設 立 : 1988年2月1日

資本金 : 4,050万円

所 有 : 土地1880坪、建物300坪

●対象範囲

登録事業者名
対象事業所
活動

株式会社 大幹
本社
土木工事、
スポーツ施設工事、
舗装工事、管工事、
造園工事

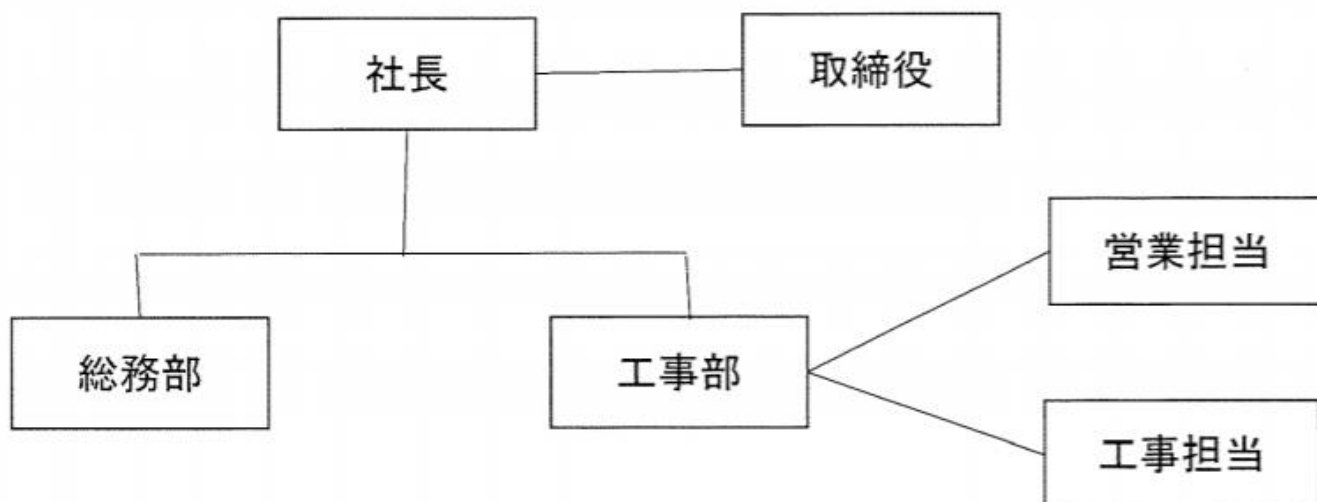
対 象 外

なし



2 実施体制と役割・責任・権限

●実施体制図



●役割・責任・権限

		主な役割と責任及び権限
社長		①法規制要求事項及び顧客要求事項を満たすことの重要性を全職員に周知し、環境方針を定め、実行維持するように全職員に周知・指示する。 ②専門技能・技術・資金等の資源の提供 ③各工事、部門責任者へ、任命と権限の付与・承認
取締役		法規制要求事項の確認、環境影響の評価 環境目的・目標の立案・実施計画の立案
総務部		環境目的・目標の理解と実施計画の実行、記録
工事部	営業担当	環境目的・目標の理解と実施計画の実行、記録
	工事担当	環境目的・目標の理解と実施計画の実行、記録

3 環境基本理念・環境方針

環境基本理念

株式会社大幹は、土木・造園全般にわたる社会発展に寄与することを目的としています。また、環境には配慮して地域密着を心がけております。

環境面では主に、工事現場での資源の有効活用・CO2の排出削減を全従業員に徹底し、社会に貢献します。その他の面では主に、国内外問わず幅広い人材雇用を通じて、誰一人取り残さない社会づくりに貢献します。

社員一人一人が自ら考え、行動することで多様な環境保全に貢献する企業活動に取り組んでいきます。

環境方針

1. 当社が該当する環境関連法規、また、同意する要求事項を遵守します。
2. 環境経営活動を継続的に実施し、その活動を定期的に見直すことで断続的な活動に努めます。
3. 環境方針を公表、また、全社員へ周知し、目標の達成に努めます。

4. 以下の取り組みを実施して環境負荷を低減します。
- ①自動車燃料と電力の使用量削減を通して、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - ②太陽光発電を導入することで、自然エネルギーの活用促進に努めます。
 - ③分別回収の徹底や使い捨て製品の使用や購入の抑制、廃棄物の可視化、建設副産物の有効活用の促進を通して、廃棄物排出量の削減に努めます。
 - ④建設発生土の発生量と再使用量の適切な管理や有効利用の促進を通して、処分する建設発生土の削減に努めます。
 - ⑤グリーン購入の促進に努めます。
 - ⑥内部及び外部関係者との情報共有を通して、環境コミュニケーションの促進に努めます。
 - ⑦地域ボランティア活動への参加を通して、社会貢献活動に努めます。
 - ⑧3S（整理・整頓・清掃）活動の実施や空調の定期的なフィルター交換・清掃をして、生産性の向上に努めます。

株式会社大幹
代表取締役 小迫尊光

4 環境経営実施計画 2021年度11月～1月

環境目標		実施計画	担当部署
二酸化炭素排出量の削減	自動車燃料使用量の削減	車両運転における燃料効率の改善	工事部
		エコカー導入の検討	社長
	電力使用量の削減	冷暖房の使用抑制	総務部・工事部
		未使用機器・照明のスイッチオフ	総務部・工事部
自然エネルギーの活用促進	自然エネルギーによる電力・熱供給の促進	太陽光発電の導入	社長
		木質バイオマスの熱利用の促進	工事部
廃棄物排出の削減	一般廃棄物排出量の削減	分別回収の徹底	総務部・工事部
		使い捨て製品の使用や購入の抑制	総務部・工事部
	産業廃棄物排出量の削減	廃棄物の可視化	工事部
		建設副産物の有効活用の促進	工事部
建設発生土の削減と有効利用増大	建設発生土の削減と有効利用増大	発生量・再使用量の適正管理	工事部
		有効利用の促進	工事部
水の使用量削減		水道使用時の節水	総務部
		漏水がないかの確認、発生時の適正処置	総務部
環境配慮施工の普及		環境配慮設計案件の受注促進	工事部
グリーン購入の促進		基準適合製品の購入促進	社長
環境コミュニケーションの促進		内部及び外部関係者との情報共有	工事部
社会貢献活動の推進		地域ボランティア活動への参加	総務部
生産性の向上		3S（整理・整頓・清掃）活動の実施	総務部・工事部
		空調機の定期的なフィルター清掃・交換	総務部・工事部

5 環境目標及び取り組みの結果

●環境目標及び実績

環境目標		2019~2020年度実績 (7月~6月)	2021~2022年度目標 (7月~6月)	2021年度目標 (11月~1月)	2021年度実績 (11月)	2021年度実績 (12月)	2021年度実績 (2022年1月)	実施期間 合計		達成度評価 (削減率)	達成度評価	
電力使用量削減	電力使用量 (kWh)	30,184	29,580	7,395	2,384	2,033	2,137	6,554	88.6%	11.4%	○	
	CO2排出量 (kg-CO2)	13,794.0	13,518.1	3,380	1,089.0	929.0	976.6	2,995	88.6%	11.4%	○	
	前年度比 (%)	-	98.0									
自動車燃料使用量削減	ガソリン	使用量 (L)	35,043	34,342	8,586	2,782	3,070	2,729	8,581	99.9%	0.1%	○
		CO2排出量 (kg-CO2)	81,300	79,674	19,919	6,454	7,122	6,331	19,907	99.9%	0.1%	○
		前年度比 (%)		98								
	軽油	使用量 (L)	87,089	85,347	21,337	4,511	3,386	3,597	11,494	53.9%	46.1%	○
		CO2排出量 (kg-CO2)	224,689	220,195	55,049	11,639	8,735	9,281	29,655	53.9%	46.1%	○
		前年度比 (%)	-	98.0								
CO2排出量削減 (上記合計)	CO2排出量 (kg-CO2)	319,783	313,387	78,347	19,182	16,786	16,589	52,557	67.1%	32.9%	○	
	前年度比 (%)	-	98.0									
自然エネルギーの活用促進	太陽光発電	発電量(kWh)		導入		570.0	533.0	543.0			○	
		前年度比 (%)										
	木質バイオマス	販売量再利用率	-		理解取り組み	理解取り組み	理解取り組み	理解取り組み	理解取り組み	理解取り組み	理解取り組み	△
	前年度比 (%)	-										
一般廃棄物排出量削減	排出量 (kg)	785	769	192	95	80	80	255	132.8%	-32.8%	○	
	前年度比 (%)	-	98.0									
産業廃棄物排出量削減	排出量 (kg)	6,318,010			1,118	477	25	1,620			○	
	前年度比 (%)	-										
再生資材利用	再使用量(kg)				114,500.0	122,500.0	137,000.0	374,000			発注先の設計書によるところがある。	
	処理費用				529,595.0	482,185.0	519,948.0	1,531,728				
建設発生土の削減と有効利用増大	排出量 (kg)	10,877,450.0			4,208,775,000.0	116,728,800.0	471,382,800.0	4,796,886,600.0			発注先の設計書によるところがある。	
	再利用率 (kg)	3,143,300.0					149,600.0	149,600.0				
	有効利用率 (%)	28.9			0.00%	0.00%	0.03%	0.03%				
	前年度比 (%)	-										

環境目標		2019~2020年度実績(7月~6月)	2021~2022年度目標(7月~6月)	2021年度目標(11月~1月)	2021年度実績(11月)	2021年度実績(12月)	2021年度実績(2022年1月)	実施期間合計		達成度評価(削減率)	達成度評価
水の使用量削減			理解取り組み	理解取り組み	理解取り組み	理解取り組み	理解取り組み			理解取り組み	○
	前年度比(%)	-									
環境配慮施工の普及	環境配慮型施工受注量		環境配慮施工の理解取り組み	環境配慮施工の理解取り組み	環境配慮施工の理解取り組み	環境配慮施工の理解取り組み	環境配慮施工の理解取り組み			環境配慮施工の理解取り組み	○
	前年度比(%)	-									
グリーン購入の促進			検討予定	検討予定	検討予定	検討予定	検討予定			検討予定	×
	前年度比(%)	-									
環境コミュニケーションの促進			理解取り組み	理解取り組み	理解取り組み	理解取り組み	理解取り組み			理解取り組み	○
	前年度比(%)	-									
社会貢献活動の推進			理解取り組み	理解取り組み	理解取り組み	理解取り組み	理解取り組み			理解取り組み	○
	前年度比(%)	-									
生産性の向上			理解取り組み	理解取り組み	理解取り組み	理解取り組み	理解取り組み			理解取り組み	○
	前年度比(%)	-									

※電気のCO2排出係数：0.457kg-CO2/kWh（東京電力）

※ガソリンのCO2排出係数：2.32kg-CO2/L

※軽油のCO2排出係数：2.58kg-CO2/L

※水使用量は管理（水道利用料の支払い）は別企業が行い、具体的な数値は不明である。

※達成度評価 ○・・・目標を達成できた。

△・・・実績が足りなかった。目標設定に問題があった。

×・・・実績が足りなかった。

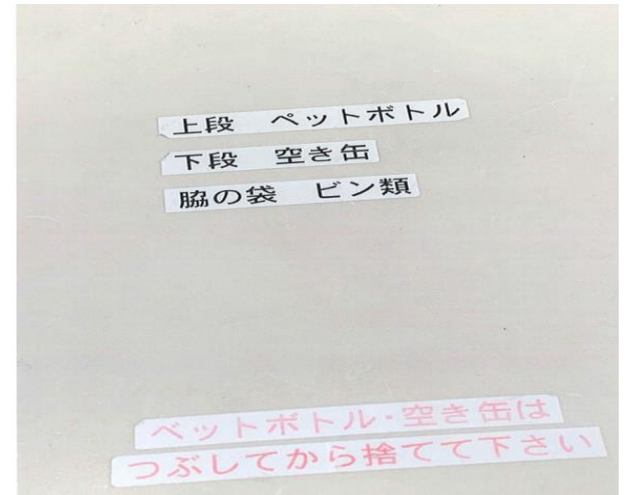
●環境目標に対する達成度及び評価と是正

環境目標		達成度評価	コメント	2022+1年度目標	2022+3年度目標
二酸化炭素排出量の削減	自動車燃料使用量の削減	○			
	電力使用量の削減	○	工場の現場の場所、事務所、工程により電力や燃料の使用状況が変動するので、削減取り組みはするが、評価が難しい。	工場の現場の場所、事務所、工程により電力や燃料の使用状況が変動するので、削減取り組みはするが、評価が難しい。	工場の現場の場所、事務所、工程により電力や燃料の使用状況が変動するので、削減取り組みはするが、評価が難しい。
自然エネルギーの活用促進	自然エネルギーによる電力・熱供給の促進	△	福利厚生の一環として、薪を使用するキャンプやBBQなど利用計画がコロナで自粛となり十分活用できなかった。	福利厚生の一環として、キャンプやBBQなど利用予定。	福利厚生の一環として、キャンプやBBQなど利用予定。
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	○	節電、節水、コピー用紙やファイル等再利用に努めた。	節電、節水、コピー用紙やファイル等再利用に努める。	節電、節水、コピー用紙やファイル等再利用に努める。
	産業廃棄物排出量の削減	○			
建設発生土の削減と有効利用増大	建設発生土の削減と有効利用増大	一	発注先の設計書によるところがあるので、評価不可。	発注先の設計書による。	発注先の設計書による。
水の使用量削減		○	理解取り組み	理解取り組み	理解取り組み
環境配慮施工の普及		○	環境配慮施工の理解取り組み。	環境配慮施工の理解取り組み。	環境配慮施工の理解取り組み。
グリーン購入の促進		×	在庫品があり、グリーン購入品の購入に至らなかった。	事務所備品、文房具等グリーン購入予定。	事務所備品、文房具等グリーン購入予定。
環境コミュニケーションの促進		○	理解取り組み	理解取り組み	理解取り組み
社会貢献活動の推進		○	理解取り組み	理解取り組み	理解取り組み
生産性の向上		○	理解取り組み	理解取り組み	理解取り組み

※達成度評価 ○・・・計画通りに実行できた。
 △・・・不十分であった。改善の余地がある。
 ×・・・実行できなかった。



環境にやさしい製品の使用



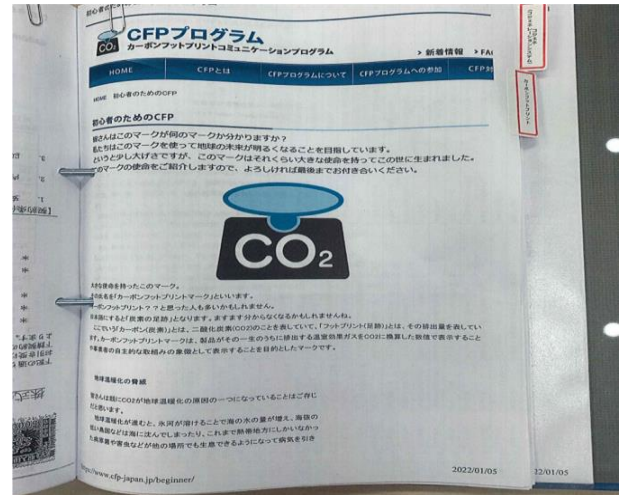
ゴミの分別



節水を促す掲示



太陽光発電のデータ確認



再生紙ボックスと環境教育



ボランティア活動への参加



薪の活用



朝礼の様子



6 環境関連法規等の 遵守評価結果及び訴訟等の有無

●環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価 並びに違反・起訴等の有無

頁1/3

承認	作成
神森	古川
R3. 12. 2	R3. 12. 2

法規制等管理表兼記録表

注：法規制等の遵守状況の監視は毎年6月又は臨時に各部門の環境委員が自組織について実施し、順守していれば○、観察事項△、不十分×を“順守評価結果”欄に記入する。
今回は、エコアクション21の実施期間中実施（令和3年12月）したものを記入しました。

法令名等		順守事項			適用対象		順守評価結果
法令名	規制条項	規 制	基 準	届 出	報 告	該当部署 具体的活動 (評価は順守状況で判定)	評価者 (古川 神森)
①自動車NOxPM法	法4条 法12条令4,規則4 法15,16条	NOx及びPM(粒子状物質)規制の対象となる地域が政令で定められている。 大気汚染の主な原因となる自動車は政令で指定されている。 事業者は事業所管大臣が定めた事業者の判断基準に従い排出抑制の義務がある。				工事部 工事部 工事部	協力会社の車両の監視徹底 対策ワッペンの有無確認 〇 〇 〇
②資源有効利用促進法	法4条 経産一環令1	製品を長期間使用,使用済み物品等を再生資源もしくは再生部品として利用,副産物を再生資源として利用するよう勤める。 自主回収及び再資源化のため,パソコンは,メーカー又は3R推進センターに引取らせる。				工事部 工事部	条文の順守 〇 〇 廃棄物管理手帳による。 〇
③下水道法	法10条 法10,11条	公共下水道の排水区域内の土地の所有者,使用者,占有者。 公共下水道の使用が開始された場合,その土地の下水を公共下水道に流入させるための排水管,排水渠等の設備を設置しなければならない。 新規増設等により公共下水道を使用し,50m ³ /日を排出する場合,使用開始等の届出。				工事部 〃	設置する 〇 〇 該当なし(3m ³ /日)
④河川法	法25条 法26条 法27条 法29条	河川内の土石の採取をする場合は,河川管理者に届出。 河川内にて,工作物の新築・改築又は消去の場合は河川管理者に届出。 河川内にて,土地の掘削,盛土,切土,その他土地京城を変える場合は河川管理者に届出 河川管理に支障を及ぼす行為は禁止し,制限し,もしくは河川管理者の許可を得る。				工事部 〃 〃 〃	条文順守 〇 〇 〇 〇
⑤騒音規制法	法14条 法15条	騒音発生の特定制業届出。 詳細は,市の「騒音・振動規制のてびき,建設工事編」参照				工事部 〃	条文順守 〇 〇 規制順守
⑥振動規制法	法14条 法15条	振動発生の特定制業届出。 詳細は,市の「騒音・振動規制のてびき,建設工事編」参照				工事部 〃	条文順守 〇 〇 規制順守
⑦悪臭防止法	法3条	規制地域の指定【都道府県知事】規制基準 施行規則別表一参照					該当なし
⑧PRTR法	法2条,令4	指定化学物質を提供する時は,相手方にMSDSを提供。				工事部	令[別表1,2]該当品順守,受 〇 価額はMSDSを社員周知。
⑨家電リサイクル法	法6条	特定家庭用機器をなるべく長期間使用し,廃棄物となることを抑制する 廃棄物として排出する場合は,運搬する者等に適正に引き渡し,料金の支払いに応じる				工事部 工事部	条文の順守 〇 〇 処理を家電店へ委託
⑩自動車リサイクル法	法8条 法78条	自動車の保有者は,使用済み自動車を引取業者に引き渡さなければならない。 資源管理法人に情報管理託金を支払わなければならない。				工事部	許可取得業者へ処理委託 〇
⑪千葉市路上喫煙防止条例	例5条 例7条	市民及び事業者はこの条例の目的を達成するために市の施策に協力する。 何人も路上喫煙をしないよう努める。				工事部	全社員に適宜朝礼時に説明し周知励行。 〇
⑫環境の保全と創造に関する条例	例63条	特定建設作業を行うものは市へ届出。 詳細は,市の発行の「騒音・振動規制のてびき,建設工事編」参照				工事部	条文順守。 〇

7 代表者の見直し

●代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 全体の評価

EA21の取り組みを始めてから、環境を意識して日々の業務に取り組むようになりました。発注先の設計書によるところが大きいので、単純に数値で比較、評価は難しいが、社員一人一人が環境への意識向上に努め、身近な事から出来ることを実践していくことで環境への負荷が軽減されると思います。

(2) 今後の目標

環境に配慮した施工を心がけ、文房具や備品等で、積極的にグリーン購入品を購入しようと思います。

株式会社大幹
代表取締役 小迫尊光